

世界の若者たち わくわく体験

越谷市内在住の中学生から大学生を対象として、様々な体験学習を通して日本人と外国人の交流を深め、グローバルな考え方や価値観を知ることが目的としています。

[in 越谷レイクタウン]…5月24日(日)

調節池にてアクセスディンギー、カナディアンカヌー、リバーカヤックを3グループに分かれて体験。仲間作りが第一目標で、会話が弾んだランチタイムは和やかで楽しそうでした。

午後は、イオンレイクタウンの中をウォーキング。地球を感じることができるいくつかの課題に挑戦しました。



[in TOKYO]…8月19日(水)

22名の参加者が、外務省、スウェーデン大使館、日本銀行を訪問しました。始めは外務省で、みんな少し緊張気味でした。日米修好通商条約のレプリカや関連の資料をもとに説明を聞きながら、貴重な時間を過ごしました。

日本で最初にピザを紹介した老舗のレストランでランチを楽しんで、午後はスウェーデン大使館と日本銀行を訪問しました。

大使館の建物に一步入ると、そこはスウェーデン。スウェーデンの人々の生活スタイルについての説明がありました。老若男女がみんな同じく権利を有しているという考え方を大切にしている点にとっても感銘していました。

電車で移動し、日本銀行へ。歴史を感じる石造りの荘厳な建物で、日本銀行の役割についての説明の後、館内を案内していただきました。大きく厳重な金庫、歴代総裁の肖像画等、興味深いものが多々ありました。1億円の札束や金の延べ棒を持ち上げる体験もできました。〈青少年交流委員会〉



外務省



スウェーデン大使館

「協会だより」に掲載されている事業、及び協会の活動内容については、越谷市国際交流協会のホームページでもご覧になることができます。(http://www.kiajapan.com 越谷市国際交流協会)

KOSHIGAYA INTERNATIONAL ASSOCIATION
越谷市国際交流協会だより
 発行◆越谷市国際交流協会 編集◆総務委員会 〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷4-1-1
 事務局◆越谷市中央市民会館5階 TEL 048-960-3350 FAX 048-960-3353
 E-mail : kiajapan@kiajapan.com http://www.kiajapan.com
第38号 2015.12.3発行

平成27年度 総会開催される

5月30日(土)越谷コミュニティセンター「櫛の間」において、高橋市長、橋詰市議会議員ご出席のもと盛大に開催されました。今年は大野会長をはじめ大幅な役員改選がありました。



吉田会長



浜野副会長



川本副会長



小林副会長

大野会長は退任のあいさつの中で、「会長在任10年間を含むこの30年間で、キャンベルタウン市との青少年交流は延べ2,000人に達した。この事業に対する双方の関心は益々高くなってきている。また、越谷在住の外国出身者は4,500人を上回り多文化共生社会樹立への活動強化の必要性が一層高まっている」と訴えました。

吉田新会長は「皆様のご協力でキャンベルタウン市との姉妹都市交流30周年を盛大に祝うことが出来た。40周年記念も盛大に祝えるよう総力を結集しましょう」と述べました。

高橋市長は「キャンベルタウン市との姉妹都市交流30周年記念式典により強化された両市の絆を、行政と協会が一体となってさらに強固にしていこうではありませんか」と力強く話されました。

議事に引き続いて、感謝状贈呈式が執り行われました。始めに、大野光政前会長、小池千代子前副会長、鈴木裕万前副会長に国際交流功労賞が授与されました。

総会后、「櫛の間」にて交流会が盛大に開催されました。

〈総務委員会〉



功労賞を授与される大野前会長



第3回「多文化共生講演会in越谷」開催される

… 在住外国人のチカラをもっと地域に活かそう! …

11月7日(土)越谷市中央市民会館において『一般社団法人グローバル人財サポート浜松』代表理事の堀 永乃(ひさの)氏を講師にお迎えして、多文化共生の歴史、多文化共生の必要性に加えて、活動の具体的展開の仕方、成功例・失敗例等の実践的な側面を中心に講演をしていただきました。

最初に、統計によると日本社会の高齢化が予想以上に急速に進んでおり日本社会の活力を持続させるためには、在住外国人の活力を地域に早期に活かすことが喫緊の課題であると強調されました。

その方法の一つとしては、地域のイベント例えばお祭りや清掃活動・草刈り活動等、草の根的な活動に外国人に気軽に参加してもらい、同じ目線で交流することで成功した事例が紹介されました。

このように在住外国人と一緒に越谷市の良さを育てつつ、その情報発信をしていくことも必要になってくるでしょうとアドバイスもいただきました。
(総務委員会)



2015年越谷市中学生使節団姉妹都市派遣事業報告

7月22日(水)から8月2日(日)の使節団派遣事業に参加された2名の生徒の感想文の抜粋です。
全文はHPに載っています。
(都市交流委員会)

越谷市立千間台中学校2年 山口 蒼生

まずは動物園・植物園見学です。将来、動物園の飼育員になりたい私としては一番楽しみにしていた場所です。動物の為に作られた園内は、緑が生い茂り、多様な鳥の鳴き声が響き渡る様子はまるで熱帯雨林のようでした。動物の種類が豊富で、オーストラリアの固有動物がたくさんいました。説明文は当然全て英語のため少ししか分からないのが残念でしたが、たくさん『触れて』学ぶことができました。園内に一匹しかいない、全身白いアルピノ種のワラビーはとても珍しいそうです。



越谷市立武蔵野中学校2年 川浪 茉桜

ツアーコーディネーター…海外の歴史や景色へお客様をお連れし、案内して感動してもらうこと。それが私の将来の夢です。この派遣事業に参加したきっかけは私の将来の夢に近づくための一歩でした。ツアーコーディネーターは英語力だけではなく、異文化やその国々の歴史的背景の知識がなくてはなりません。今回の派遣事業では異文化に触れ、英語力を試すに良い機会となりました。初めは緊張してホストファミリーと全く会話ができず、言葉の壁にぶち当たりましたが、それもすぐに相手が分かりやすい単語に言い換えてくれたり、私もボディランゲージや片言の単語を並べることで会話が弾むようになり、将来の夢に近づくための私の課題が勇気であるということを見出すことができました。



第41回 越谷市民まつり

10月25日(日)第41回越谷市民まつりが開催されました。当協会も例年通り参加しました。

市民まつりの始まりである「交通安全パレード」には、パフォーマンスの方たちもそれぞれの衣装を着けて参加して下さいました。ハロウィンの衣装の方たちも併せて約30人の賑やかな行進となりました。

今年も当協会のパフォーマンスの場は葛西用水ウッドデッキでした。平和橋近くでは、猿回しのお猿が集客に一役買ってくれました。お猿に引き寄せられた観客が、その先のステージへと進んでくれていました。

次のステージでは「国際異文化交流デスク」が設けられ、越谷市にいらっしゃる海外の方とゆったりと語り合う場になっていました。

その先のメインステージでは「Jun&ちさ」のお二人が総合司会を務めて下さり、その進行の下たぐさんのパフォーマンスが披露されました。和太鼓の演奏に始まり、ロシアダンス、ハワイアンダンス、タヒチアンダンス、忍術の演武、津軽三味線やギターの演奏などが次々に披露されました。最後のダンスでは会場を巻き込んで大盛り上がりでフィナーレを迎えることが出来ました。

ステージ脇ではパフォーマンスを終えた出演者と市民の方との交流風景も見受けられ、太鼓に向かう市民の姿もありました。出演者の方たちと観客が一緒になって盛り上がり、大いに楽しめたステージとなりました。
(総務委員会)

